

千葉大学園芸学部 教育課程編成・実施の方針

「自由・自立の精神」を堅持するために

- 学生が自ら設定した目標の達成に向けて、継続的に自己を点検評価・検証しつつ主体的な学修を行うことが可能な教育を提供する。
- 学術的な思考への導入に関する科目、千葉大学園芸学部の伝統を学ぶ科目を通して、学生としての自己の確立を促し、職業倫理に関する科目、専門的な演習科目、インターンシップ科目を通して、専門職業人としての社会の規範やルールを尊重する姿勢を涵養する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 専門科目において、普遍教育科目で身につけた幅広い視野、批判的精神、豊かな教養に裏打ちされた全人的な人間性を基盤として、専門導入教育を充実するとともに、それらを基盤として学生が自己の専門領域を修得する意義を理解できる学修機会を提供する。
- 諸課題が地球規模となる時代に対応した学修環境を整備し、地球規模の課題を解決する能力を涵養するために、多様な留学の機会を提供する。同時に、地域を支える人材育成に取り組む。
- 学内外で継続的な学修を促進するために、情報通信技術を活用した学修基盤を提供する。

「普遍的な教養」を涵養するために

- 普遍教育科目で学修した国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境を理解し、文理横断的・異分野融合的な知を、専門職業人として継続的に醸成し、国際的な視野と地域的な視点から課題を主体的に認識し、その解決に向かって広い視野に立って物事を考える横断的な学修機会を提供する。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- 専門教育科目をおき、学科によって規定される専門基礎科目と、教育プログラムによって規定される専門科目によって、専門領域での必須事項を段階的・体系的に修得できる教育課程を編成し、提供する。
- 修得した専門領域での知識、論理的思考や表現の手段を、学生が主体的に活用できる実践的教育の機会を効果的に提供する。
- 主体的な学びに裏打ちされた専門的な知識・技能で、社会の進歩に貢献でき、知識集約型社会を牽引するイノベーション創出のための学修環境づくりを進める。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 普遍教育と連携し、英語を中心とした語学教育行い、専門教育とも連携して発信型のコミュニケーションを学修する機会を提供する。
- 情報通信技術の活用も含め、必要な情報を適切に収集する方法を修得し、それ

を適切に発信できるように実践する学修の機会を提供する。

- 専門領域において、学生がチームワークやリーダーシップを学び、獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、食と園芸科学の領域における問題解決に能動的に取り組む教育を提供する。
- 専門領域での問題に関して、社会の要求を踏まえた問題解決を実践できる学修の機会を提供する。

「学修成果の厳格な評価」のために

- 学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。また、成績評価を透明かつ公平に行うためGPA 制度を採用するとともに、事前・事後学修の明示や履修登録単位数の上限設定等により、単位の実質化をはかる。
- 講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。
- 実験・実習・演習科目では、試験、レポート、口頭発表、実技等でその達成度を評価する。